

1991

3

No.404

入善報

日ざしポカポカ号

水キラキラ
町いきいき入善

●発行/入善町役場 ☎939-06 富山県下新川郡入善町入膳3255 ☎0765(72)1100 FAX 0765(74)0067 ●編集/総務課



■町のイメージアップ作戦

PART. 35 「フラワーセンター」

公園都市宣言の町・入善のシンボルとなっているフラワーセンター。一年じゅう花と緑がいっぱいです。ここで育った草花は、まちの公園や施設へと移り住みます。温室ではバナナやソテツなどの熱帯植物も育ち、多くの見学者が訪れます。春になりました。フラワーセンターは、これからフル稼働です。



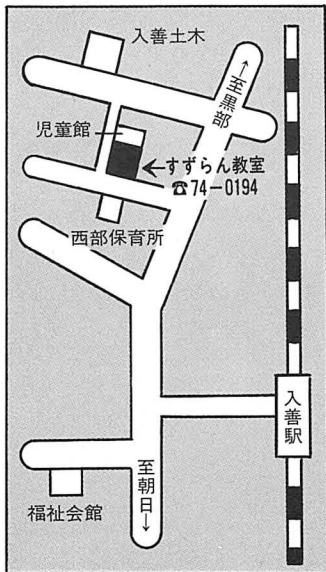
「すずらん教室」はいま

みんなで手をつなげる環境を

「すずらん教室」をご存じでしょうか。町内の在宅精薄者のみなさんが一つ屋根の下に集まり、簡単な軽作業を通して、自分で生活していくための訓練を行っているところです。

現在、県内には20か所の福祉作業所があり、在宅精薄者のみなさんの社会参加の場となっています。しかし、運営に携わるかたがたや、家族の苦労もなみ大抵のものではありません。

今回は、「すずらん教室」とそれを支える人たちの取材を通して、「すずらん教室は、いま何を求めているのか」を考えてみました。



●福祉作業所

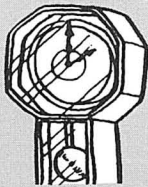
法的には障害者授産施設等の諸規準に満たないが、障害者の働く場として、障害者、親、職員をはじめとする関係者により地域の中で生まれ運営されている作業所のことをいう。小規模授産所、共同作業所等の名称でもよばれます。

分かるかな？ 入善弁

お年寄りには懐しく、若い人は首をひねるかもしれない入善弁。さて、今月はどんな「ことば」が登場するやら…。

すずらん教室の一日

8:30	登所
9:00	朝のあいさつ・ラジオ体操
10:00	作業 (休けい)
11:50	食事準備
12:00	昼食・生活指導・休憩
13:00	作業
14:45	おやつ
15:00	後かたづけ・全員清掃
15:30	帰宅



▼さあ、今日もがんばるぞ。朝のラジオ体操イチ・ニ・サン。
元気モリモリ、気分もさわやかです。



▲作業の合い間についとおしゃべり。だって、仕事楽しくしょうがないから…。

生ぶ声は

昭和52年4月

すずらん教室がスタートしたのは昭和52年4月のことでした。精神に障害を持つ子どもたち何とか社会参加をさせてやりたいという親たちの願いが一つの運動を起こし、同じ境遇の人たちが話し合える場を町につくってほしいと役場に要望したのが開所のきっかけでした。現在は県内で20ある福祉作業所のうち、すずらん教室は黒部市の「ひまわり指導室」に次いで2番目に早く誕生しました。

当初は、旧中央公民館の中で10畳ほどの一室を借りて週に3回程度仲間が集まり、交流会といった性格のものでした。精薄者の親たちの間では「手をつなぐ親の会」という会を作っています。子供の世話をし、より充実した生活をさせてあげることにはどうすれば良いかということをお互いに連絡を取り合いながら情報交換などを行うのがこの会の目的です。

交流の場から

社会参加の場へ

ところで、通所福祉作業所であるすずらん教室は、本来、何らかの理由で更生施設に入所でできない人たちの福祉のための中間施設として開設しました。

「すずらん教室親の会」では、「単なる交流会の場ではなく、簡単な内職を通じて社会生活に参加できる場にしてあげたい」という思いが日増しに積もってきました。仕事の獲得は容易ではなく、親の会では

は会社をいくつもまわって、内職探しに奔走したそうです。このときの苦労は大抵ではなかったはずですが、親たちの情熱はそれをやるかに超えていました。最初に始めた仕事は、開所からおよそ2年後、プラスチック製品の組み立てと箱詰めでした。

毎日顔を合わせ

楽しく仕事

昭和61年に旧中央公民館が取り壊しになり、同時にすずらん教室も今の場所へと引っ越ししました。商店街から少し西へ、児童館と西部保育所とのちょうどまん中にあります。元は「老人憩いの家」として利用されていた建物です。現在12名のみなさんが毎日ここへ通い、仕事を通して仲間と一緒に楽しいひとときを過ごしています。中には朝日町から電車に乗って通っている人もいます。指導員は2名、みんなから「先生」と呼ばれ親しまれています。学校と会社と家庭が一緒になったような明るい建物です。仕事の中は、当初と同じくプラスチック製品の組み立て。シールはり、袋入れ、箱詰めといった具合に、分業方式で能率アップを図っています。

◎しばや……いろいろの側の柴置場。「しばやに駒」は、柴屋に馬をつないだ状態を言う。つまり、家の中が散らかし放題のこと。身の回りを整頓すると、気持ちも整理される。柴屋は柴屋にしておこう。

▼左が古橋さん。指導員となって2年目。彼女が笑えばみんなも笑う。明るいムードを絶やしません。



開所当時は地域から十分な理解を得られず、ちゅうちょしたということも聞きますが、今ではそんなことはありません。隣の西部保育所の園児のみなさんと交流させてもらっていますし、新川むつみ園のみなさんと合流して、盆踊り大会や生活文化展などにも参加しています。

感違いしていた

自分が

恥ずかしい

(古橋さん)

指導員になって間もないころ、友人たちからよく「あんな所で働いて大丈夫なの？ 気持ち悪くないの？」と聞かれたもの

です。多くの人は知恵遅れの人たちを奇異の目で見ているんですよ。そういう自分も、最初はやはり不安な気持ちでいっぱいでした。でも、実際に現場にいるとそんなことはまったく感じません。それどころか、みんな純真な心の持ち主ばかりです。ここにいと、とても幸せな気分ですね。

指導員をしておられる椿文さん(新上野・57歳)

と古橋秋子さん(入膳・42歳)、「すずらん教室親

の会」の会長である柚木恭子さん(入膳・59歳)の

3人に、すずらん教室の実情や、日ごろの感想などを語っていただきました。

これまでは、障害を持った人たちは家や施設の中で隠れているか、あるいは隠そうとする風潮があったかもしれせん。でも、それは間違いです。

私には、施設の先生がたのような専門的な知識はありませんが、すずらん教室の指導員として精一杯がんばるつもりです。作業を通じ、いろんなことをたくさん体験させてあげたいです。仕事の合い間をみて、社会見学やハイキングなど多彩な行事を組み合わせ、私たちのことも地域のみなさんにもっと知ってもらおうと思っています。

工賃は月5千円

お金よりもみんな

の協力がほしい

(椿さん)

—— 仕事の内容はごく簡単なものですが、みんなは自分の仕事に対してすごくプライドを持っています。「先生、私たちの作った製品が店に並んでいたよ」と大喜びした子がいました。受け取る給与の額は月にわずか5000円程度。でも金額の大きさをなんて関係ないんです。「自分は働いていて、お金ももらっているんだ」という意識が、どれほど本人たちを勇気づけていることでしょうか。



▶中央が椿さん。指導員歴は5年目。いつもみんなと同じ立場になって、物事を考えてくれる優しい「お母さん」です。

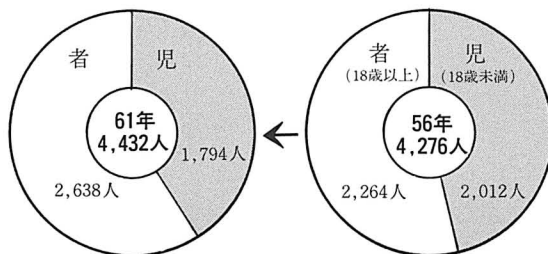
仕事の受注具合は今のところ順調ですが、このままずっと続けていけるかと少し不安があります。個人個人の能力の差に応じて仕事量を考えていますが、ある程度のノルマを達成しなければ仕事をもらえなくなることだってあります。

虫が良すぎるかもしれません。私たちの仕事をボランティアでお手伝いしてくださるかがいてくれたらなと思うことがあるんです。仕事を失わないためには、私たちの努力のほかに回りからの協力がなければ、運営はかなり難しいと言えるでしょう。

●精神薄弱者の

人数(県)

県が昭和61年度に実施した実態調査によると、精神薄弱者(18歳以上)と精神薄弱児(18歳未満)の総数は4,432人で、前回調査(昭和56年)4,276人と比較すると156人増えています。



●精神薄弱者の

ための施設(県)

障害の程度や年齢、目的などによって、いくつかの種類に分かれます。養護学校を出た後の18歳以上のかたを対象とした施設

●かくす……ポケットのこと。文法上、「隠す」の動詞形ではなく、名詞形。「かくすにまたいます」とは「ポケットに入れる」となり、頭脳指数 200の非常に難解な表現である。



▲昨年10月、秋の遠足で小杉町の「太閤山ランド」へ行ったときの
一コマ。仕事も楽しいけど、外で遊ぶのはもっと気持ちがいい/
みんなすごく仲良しなんです。



▲夏、新川むつみ園で開かれる盆踊り
大会に出演。地域の人たちと交流を
深めました。

昨年10月、秋の遠足で小杉町の「太閤山ランド」へ行ったときの
一コマ。仕事も楽しいけど、外で遊ぶのはもっと気持ちがいい/
みんなすごく仲良しなんです。

県下には施設に入らず在宅
で社会復帰を目指してがんばっ
ている精薄者がたくさんいます。
ただ、自分が年をとりにくくなっ
た後、残された子どもの面倒は
だれがみってくれるのかと思うと
心配でたまりません。現在県下
では精薄者の数に比べ入所でき
る施設が不足している状態です。
援護施設の増設やノーマライゼ
ーションを基調とした環境整備
が一日も早く望まれます。
すずらん教室のほうは、温か
くサポートされています。

やがて面倒を だれがみる それが唯一の不安 (柚木さん)



●柚木恭子さん
(入善9区・59歳)

「すずらん教室親の会」の
現会長。開設当時からさら
ざまな運動を展開しての幸
せ、今もなおみんなの幸
せを願ってやみません。

い指導と町や県からの援助もあ
つて、順調に運営されています。
ただ、建物が15区公民館と併用
ということもあり、作業所の設
備面で不便を感じています。で
きれば独立した新しい建物が欲
しいのですが。また、中には
給料より高い交通費を払って教
室に通っている子もいることか
ら、精薄者の交通費半額化を行
政に対し呼びかけています。

私たちは、社会に参加するこ
とで何とか子どもたちに生きる
喜びを与えてやりたいと思っ
ています。たまにまちで出会っ
たなら、軽く声をかけてやっ
つて下さい。人に話しかけられ
るとすごく喜ぶんです。

設には、精神薄弱者を保護し、
自立のための指導訓練を行う更
生施設や、職業を与えて自活を
促す授産施設があります。県下
の状況は次のとおりです。

更生施設
入所型：7施設(620名)
通所型：1施設(30名)

授産施設
入所型：2施設(130名)
通所型：1施設(30名)

なお、すずらん教室のような
福祉作業所は、一般に言う施設
としては認められていませんが
県下に20か所、約350名のか
たが通っています。

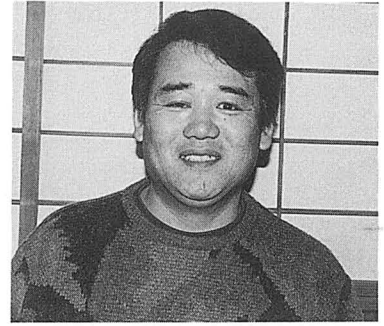
●ノーマライ
ゼーション

1959年デンマークの「知
恵遅れ」の親の運動のなから
提唱されてきた考えを表現した
もの。高齢者も若者も、障害者
もそうでない者も、すべて人間
として普通(ノーマル)の生活を
送るため、ともに暮し、ともに
生きぬくような社会こそノーマ
ルである、という考え方。つま
り、高齢者や障害者の施設をつ
くり、しかも遠くへ隔離・分断
するような社会はアブノーマル
だ、という考え方です。この理念
を拡げて、全国では地域福祉の
拡充などにさまざまな動きが現
れてきています。

●いしなのまご……石の孫。石野真子はアイドル。ききわけの良い子供。かたいかたい子は良いのだが、時には「いし
の孫より堅い子」もいて、手に負えない。子供はワンパフを是としたい。

そとから見た にゅうぜん

昨年11月、4人の家族とともに四国の香川県から引っ越してこられた日数谷勝彦さん（東洋紡社宅）。「引越は3度目。日本海側は初めてです」と話します。



出身地を紹介してください。
日数谷 長崎県の佐世保市です。人口は約25万人、海あり山ありの港町です。全国でも有数の造船業の盛んな所です。海には無人の小さな島がたくさん浮かんでいて、昔はそこでよく探険ごっこをしたものです。魚も豊富にとれますよ。最近では埋め立てが進んで、海岸の様子もずいぶん変わりました。
入善の印象は？



お手付きは一回休みヨ 舟見中で百人一首大会

日本の伝統文化に親しみながら生徒間の交流を深めようと、1月25日、舟見中学校で全校生徒による百人一首大会が開かれました。クラスごとの予戦を経て上・中・初級に分かれ、5人ずつグループになって勝負。歌を全部覚えようと1週間前から特訓をしてきただけに、ゲームとはいえ札をにらむ生徒のみなさんの目は真剣そのものでした。

長寿を願って亀の雪像 ボーイスカウトのみなさん

「亀のように万年も長生きしてくださいね。」
2月17日、ボーイスカウト・入善第2団のみなさん15名が、舟見寿楽苑の中庭に長さ4m、幅2.5m、高さ1.2mの巨大な亀の雪像をつくり、おじいちゃん、おばあちゃんにプレゼントしました。窓の外をのぞくと亀さんがいつもニコリ。寒かった冬が一度に暖かくなったような気分でした。



小摺戸のお生まれで、現在は舟見寿楽苑で療養中の杉本ちやさんが2月14日、めでたく満100歳の誕生日を迎えられました。上田収入役ら町や県の代表者から祝い状と肖像画、記念品などが贈られました。ちやさんもこの日はたいへん喜んでおられ、自ら祝い状を読み返すという一幕も。町で100歳以上のかたは、これで4人に増えました。

杉本ちやさん満100歳

← 誕生日はバレンタイン

カメラ・プロジェクト
カメラ・プロジェクト
カメラ・プロジェクト

新青芦住

屋島崎所

新田 氏名
笛倉きみへ 重信
ぬい 年令
78 83 55

飛田みちま 世帯主
正 人

おくやみ
（敬称略）



入高芦吉青上小櫛舟君上入舟入入東新上住

膳畠崎東木野戸山見島野膳見膳膳狐屋野所

野井飯濱北寶舟中九柚石福大五鍋石藤目保
澤田澤岸川田根島里木倉倉島十里島原田澤澤護
和浩正悟修徹晴一憲むつお良治修宏文雄昇豊久雄
浩久浩悟修徹晴一憲むつお良治修宏文雄昇豊久雄

長長長長3長22長長長長232長2長続
女男女女女男男男女女男女男男男男男男男男柄
香総綾満美美翼 稔陽つか彩巧理悠慶宏貴雄慎
央一子奈子子 人香さ香一沙暉太太大大二前

おめでた
（敬称略）



■すらむ……目先が見えにくくなる意。目がくらむ、夜が白むと似た状態で、一種の不透明感が漂う文学的表現。「目すらむがい」の訳は、目が弱ってきたな!!である。「スラム街」ではない。

ふるさと歴史

No.49

芦崎浦の漁場

めじるし の目印



▲ 檜ヶ崎から見た生地浦

明治15年頃の芦崎浦の範囲は、東は現在の入善町木根の西島にあった。高沢市右エ門の家の森と「愛本橋」を結ぶ線(吉原浦との境界線)とし、西は黒部川の河口を越えて、現在の黒部市生地芦崎にあった二本の「新界松」と「村椿与右エ門の家の森」と海上に見える「伏木の三ツ山の真中の山」を結ぶ線(生地浦との境界線)としていた。

明治9年(1876)1月から12月までに芦崎村でとれた魚は、イワシ・タイ・コダイ・サバ・アジ・コアジ・ブリ・サケ・ヒラメ・ハタハタ・イカ・エイ・キス・カツオ・フクラギ・ハマチ・ヒシコ・ヤナギ・オイボ・マス・スズキ・サメ・エビ・バイなどであったという。

芦崎村の漁夫たちが、手繰網やオイボ・エビ・バイなどの沖合の漁場を正確に見分ける方法は、長年の経験によって海上の漁船と陸上の二つの目印とを結ぶ直線の角度によって判断していた。この陸上の目印になったのは、朝日町の宮崎山鼻、宇奈月町の愛本橋、魚津市の弁形山や天神山などであった。この中間にあった笹原新村、下飯野新村、荒俣村などの鎮守の森や旧家の森、浜納屋や生地の台場なども大事な目印であった。

入善町史編さん委員
永井宗聖さん

日数谷 海岸が近いので喜んでいいます。家族はみんな海が好きでしてね。広々とした地形はゆとりを感じます。まだ冬の気候しか知らないけれど、天気の変化が激しいですね。雨かと思えば急に雪に変わったり、パツとやんだり…。先日、初めてスキーに挑戦したのですが、とても面白かったです。でも、ふだんは外でスポーツができないのが残念です。ほかのみなさんはどこで体を動かしているのでしょうか。大きな体育館が早く建ってほしいなと思っています。
— これからの抱負を —
日数谷 入善弁はまだ理解できませんが、みなさんととても元気で明るい人ばかり。いろいろな行事にどんどん参加して、にぎやかな町民性を肌で感じていきたいです。

寒さしつう飛ぶスピード感

第14回町民スキー大会



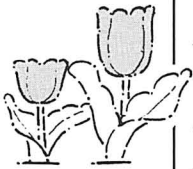
町民のスキー熱は年々高まるばかり。冬のスポーツはやっぱりこれで決まりですね。1月27日、宇奈月温泉スキー場では毎年恒例の町民スキー大会が開かれました。参加したのは小学生から60代までの男女合わせて62名。時おり青空がのぞくまですずのコンディションの中、選手のみなさんはスピード感あふれる華麗な滑りでゴールを目指していました。各クラスの優勝者は次のとおりです。

- 小学女子…大林貴子(舟見小)
- 小学男子…山下孝信(舟見小)
- 中学女子…愛場栄子(舟見中)
- 中学男子…舟本 司(舟見中)
- 一般女子…上坂真由美(舟見スキー)
- 少年男子…鬼原学人(桜井高)
- 青年男子…芹沢 章(舟見)
- 成年男子…大野隆樹(上飯野)
- 壮年男子1部…谷 正和(古黒部)
- 壮年男子2部…藤田政也(新屋)

かめら・びじくす カメラ・ピックス かめら・びじくす

入	新	上	木	芦	入	下	上	舟	舟	高	吉	藤	入	上	青	新	小	吉	舟	舟
飯	屋	野	根	崎	膳	野	野	見	見	島	原	原	膳	野	木	屋	杉	原	見	見
(2月15日分届出まで)	中	新	上	古	池	米	野	松	芹	坂	竹	池	中	亀	小	早	西	柏	大	西
	陣	田	島	本	原	澤	坂	下	澤	本	田	原	島	田	林	川	島	原	家	島
	保	虎	そ	一	藤	邦	義	奥	フ	つ	勝	松	一	ハ	政	正	て	ア	は	順
	一	松	よ	子	一	弘	右	三	サ	や	吉	久	郎	ナ	義	夫	る	キ	り	治
	59	82	98	59	59	39	82	85	82	83	47	77	94	72	81	71	62	85	87	81
	78																			
	本	富	與		本	米	本	健	稔	本	本	本	正	長	喜	本	本	忠	英	本
	人	義	松		人	吉	人	治	人	人	人	人	夫	次	代	人	人	雄	浩	人

❶いがらっほい……のどがガラガラすること。春は待ちどおしいけど、杉の花粉のど・目・鼻がグチャグチャになる。杉の芽や花を煎じて飲むが良い。目には芽を、鼻には花をというではないが。



柚木町長、そして入善町民のみなさんへ
 みなさん、新しい年をどうお過ごしですか。1991年も両市町の友好がさらに深まることを希望しています。
 当地では、この冬厳しい天候にみまわれ、クリスマスのころは-13℃にまで気温が下がりました。昨年は、東欧の民主化運動の高まりとベルリンの壁崩壊などで平和が長く続くものと思われました。ところが今、私たちは戦争のさなか。中東との外交の失敗を、息子たちの血で代償するというニュースに、不安を抱きながら手紙を書いています。ソビエトでも、ペレストロイカが昔の専制時代へ逆行しつつあり、世界が再び危険な時代に直面しています。

フォ市では、いくつかの新しい建設を行っています。様々な要因から、未来はなかなか予見できません。昨年の訪問以来、フォ市でも変化がありました。ご存知の通り、11月の市長選で私は再選されました。みなさんからのご祝辞ありがとうございました。フォ市発展のため、そして両市町の友好のために、今後4年間の任期をしっかりと務めようと思います。

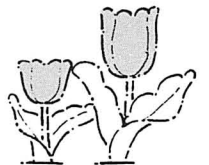
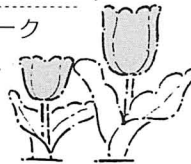
ご家族、議員のかたがた、そして町民のみなさんによくお伝えください。

敬 具

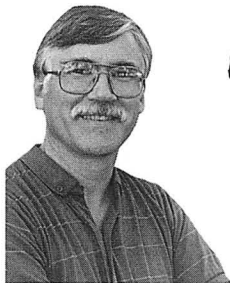
クリフォード・クラーク



春一番 フォ市からのお便り



クラーク市長からの手紙



▲サンダースさん



ビデオ「入善物語」の撮影に4月来町

昨年5月の友好訪問で、パシフィック大ジャズメンバリーのビデオカメラマンとして来町されたジャック・サンダースさん。この4月、フォ市姉妹都市委員会を代表して再び入善へやって来られます。
 今回の訪問は、入善の友人たちと会うことに加え、もう一つ大きな目的があります。入善町の様子や町民の暮らしをフォ市民のみなさんに詳しく伝えようと「入善物語」というビデオを作成します。

サンダースさんはやる気満々。どんな内容にするかは未定です。みなさんの意見やアイデアを生かして作成するつもりです。
 ★ご意見は：
 役場企画係
 ☎72-1100
 (内221)まで

この春、フォ市からの第一報をお知らせします。クラーク市長とパシフィック大のサンダースさんからお手紙が届き、フォ市の様子や今後の予定などを伝えてくれました。

●こあたま……頭のうしろ側。後頭部。多少ぶつけても、コブが出来る程度で、大事な脳ミソを守るために非常に丈夫な構造になっている。こあたまの構造は誰も同じだが中味は十人十色。



▲生徒のみなさんに囲まれて。肩を組んでいるのは現地で知り合った同じ協力隊の一員。笑顔がとてもさわやかです。



▲授業風景。この日は年に一度の国家資格検定に挑戦中でした。

物はなくても心は明るく

私が派遣されたところは、首都アクラから北西へ約450km離れたウエンチという小さな田舎町でした。この国は熱帯気候に属し、一年じゅう夏。チョコレートの原料となるカカオ、トウモロコシ、

青年海外協力隊に参加して

青年海外協力隊の一員としてアフリカのガーナで2年間、服飾技術指導にあたってこられた木本重美さん。無事任期を終え、1月末に帰国しました。現地での様子や思い出などを語ってもらいました。



木本重美さん
(木根・28歳)



料となるカカオ、トウモロコシ、いも、野菜の栽培が盛んな農業国です。人々は信仰心が厚く、キリスト教、イスラム教などいろいろな宗派が混在しています。私が洋裁を教えていた家政専門学校は、カソリック教会系の学校でした。

生徒は、15〜20歳くらいまでの女性約60人。比較的に恵まれた家庭の子ばかりでしたが、国全体が貧しく、学校の経営はやつとでした。教材の布も高く買ってないので、ふだんはセメント袋を布の代わりに使って授業を進めました。生徒たちは学校

を卒業しても、ちゃんと就職できるのはほんの4〜5人にすぎません。それでも、毎日熱心に授業に出てくれました。教育水準は決して高いとは言えず、公用語であるはずの英語も原住の人には通じません。生活意識の違いにも悩まされました。これらの人たちにとって、目の前の物はすべて自分の物なんです。とにかく、言葉で理論を述べるよりも「見せる」ことから授業を進めました。悪戦苦闘の毎日でした。それでも最後には、全員が自分で服を仕立てられるようになり、洋服が完成したときはみんな大喜びでした。私もうれしくてたまらず、みんなで何度も記念撮影をしました。

この2年間で、私は数えきれないほど多くのことを勉強させてもらったと思っています。貧しくても、人々はとても明るく元気でした。日本は恵まれた国だとあらためて知りました。ボランティアを通じ、国境を越えた友情が芽ばえました。きっかけは何でもいいと思います。みなさんもぜひ国際交流に参加してみてください。社会を見る目、自分を見る目がきつと変わります。心が今までと違って、ぐつと豊かになると思います。

世界へはばたくチャンスです！

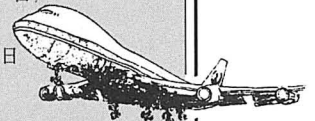
平成3年度
富山県青年・婦人海外派遣事業

県では、第21回青年海外派遣事業、第11回婦人海外派遣事業に参加する団員を募集しています。

- ▶派遣国…ソビエト、スウェーデン
- ▶期間…平成3年10月1日～13日(13日間)
- ▶募集人員…●青年 一般部門(20～29歳)…45名
(うち身体障害者3名)、農業部門(青年20～34歳、

最高学年の学生) 15名(うち学生3名)

- 婦人 40名(30歳～54歳)
- ▶募集期間…平成3年3月1日～30日
- ▶自己負担金…約23万円
- ▶申込み・問合せ…役場生涯学習課

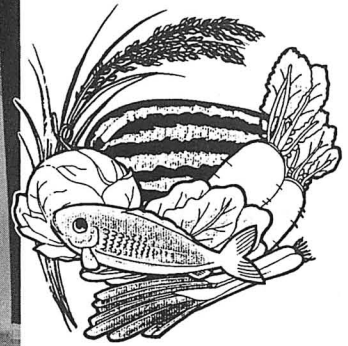


☎72-1100 (内線612へ)

◆ほいちゃ……包丁。料理上手は、包丁を大切に使う。一週間に一度は研ぎましょう。時々、茶碗の高台で研ぐだけでも切れ味は相当違います。「包丁」とは中国に実在した料理名人の名前なのだ。

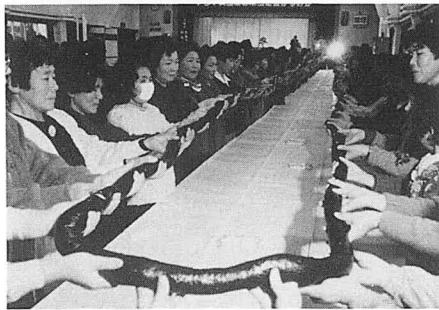


食文化フォーラムより



豊かな食生活とは

今のままで本当に良いのだろうか



▲討論会のあと、長さ48mの巨大なおり巻き作りに挑戦、見事に完成しました。もちろん、味のほうも抜群です。

「飽食の時代といわれる現在の食を見直して将来の望ましい食生活を考え、地元の農水産物の活用も図ろう」と1月31日、武村福祉会館で「食文化フォーラム」が開かれました。農村婦人や消費者、中核農家など250人が参加。活発な討論が行われました。

パネルディスカッションではコーディネーターの元県立短大教授堀田良さんが「金さえ出せば何でも買える中で、はたして本当に心も豊かな食生活が行われているのだろうか」と問題提起。これに対し、近藤俊行さんほか4人のパネリストのみなさんから、食事と健康、こどもの栄養、郷土食伝承の必要性などについて次のような意見が出されました。

「子どもたちの好きなジュース類や柔らかい食べ物は、歯を弱くします。小さい時からの食生活が成人病や歯科疾患になる要因の一つになるのでは…」

「園児のお弁当をのぞいてみると、カルシウムの源である小魚やビタミンを多く含む緑黄色野菜が不足しているみたい。お母さんも考えて作らなければ」

「生徒の4割近くが家族全員で夕食をとっていません。昔は食物は貧しくとも、食事は一家だんらんの場合、文化継承の場であり、重要な時間でした…」

「郷土料理をもっと見直すべきです。身近な材料で、風土に合い、健康維持のために工夫された料理だからです。便利さ優先の食事は、生活の基本さえ失いつつあります」

続いて、アンケートをはさみながら参加者との質疑応答が熱心に交わされました。

米の栄養バランスの良さや家族そろって食事することの大切さなどをあらためて見直し、調理済み食品が多い中にも無農薬野菜など安全な食品を消費者は求めるということもわかりました。また生産者の方でも、消費者に安心・満足を与える作物の工夫が必要といえるでしょう。

食生活…はてさて、あなたのお宅での文化度は？



案内

漁業者・遊漁者のみなさんへ

富山県漁業調整規則の一部改正により、黒部川・小川河口付近の採捕禁止の範囲が次のようになり変りました。

黒部川…：河口中央から半径540m以内の海域において、4月～6月の間はますを、10月～12月までの間はさけを採捕してはならない。

小川…：河口中央から半径200m以内の海域において、10月～12月までの間はさけを採捕してはならない。

若いお母さんへ

育児講演会を開催

子供のしつけは最初が肝心。良い子に育てるためのお母さんの勉強会を開きます。

▼日時…：3月22日(金) 午後1時30分から

▼場所…：健康センター

▼講師…：加藤泰三先生(富山労災病院小児科部長)

▼演題…：「これからの子育て」

※講演中はお子さんをお預りしませんが、ぜひ、おいでください。

●にたりん……にたにた笑うクセのある人。「男は3年片頬」といって、3年に1度、片方の頬を少し引きつる程度にし、か笑わぬ者が男の中の男であった。最近「にたりん」その上「おかま」も多いとか。

善意の窓

あたたかいご芳志に感謝いたします。

◆社会福祉事業資金へ (1月11日～2月8日)

青木	上島 幹夫	30,000	亡父廣松の供養として 小銭をためて
田ノ又	坂東 房子	6,610	
入膳	入善地区同盟	22,280	

◆物品の部

入膳	清流俳句会	記念切手 27枚	
----	-------	-------------	--

20歳になれば 学生も国民年金

平成3年4月1日から、学生も20歳以上の人は国民年金に加入することになりました。これにより、すべての人が加入期間が40年となり、満額の老齢基礎年金を受けられることとなります。

◆加入の手続きは

あなたの住民票のある市町村役所で行います。住所を離れている場合は、家族の方が本人に代わって手続きをすることもできます。

◆保険料は

1か月 9,000円です。学生の場合は負担が困難なこともあり、世帯主が代わりに納付することもできます。便利な口座振込みもご利用できますので、届出の際に申し出てください。

◆納付が困難な方は

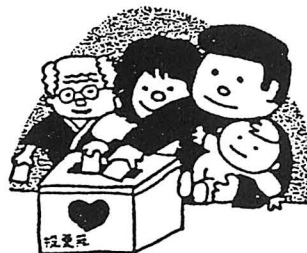
学生の場合には、一般の被保険者よりも緩和された免除制度があります。詳しくは、国民年金係窓口で相談してください。



県議会議員総選挙 投票日は4月7日(日)

捨てないで、あなたの一票 貴重な意見

県議会議員選挙が4月7日の日曜日に行われます。私達の明日の県政をまかせる重要な選挙ですから、よく考えて投票してください。投票を棄権することは、政治に参加することを自分から捨てることになります。皆んなそろって投票しましょう。



投票のできる人は……

- ・昭和46年4月8日までに生まれた20歳以上の人。
- ・本町に転入して来られた人で平成2年12月28日までに転入届を出された人。
- ・入善町から県内他市町村に住所を異動した人で、投票日現在4か月を経過しない人。

投票時間は午前7時～午後6時

場所は投票所入場券に書いてあります。

当日、投票所に来られない人は……

- ▶通常不在者投票 選挙の当日、仕事や旅行、病気などで投票できない人は不在者投票ができます。
 - ・投票期間…3月29日から4月6日まで、午前8時30分から午後5時までです。土・日曜日でも投票できます。
 - ・投票場所…町選挙管理委員会(役場2階)で行います。印鑑を持参してください。
- ▶このほか、町外での不在者投票や郵便による不在者投票もできます。詳しいことは、選挙管理委員会 ☎72-1100内線252へ。

お知らせ

保険で安心 明るいスポーツ

平成3年度のスポーツ安全保険加入受付が始まりました。子供から老人まで、5人以上の団体であれば加入できます。

- 保険料：中学生以下360円、一般1100円、老人500円。
- 保険給付額

	中学生以下 一般	老	人
死亡 後遺障害	1,400万円	400万円	
入院	1日4,000円	1日1,800円	
通院	1日1,300円	1日 800円	
対人	1 億 円		
対物	500万円		
見舞金	50万円		

申込み・問合せはスポーツ振興課 ☎72-1100内線661まで。

送riませんか 広報ふるさと便

町外・県外の親類や知人へ、町の話題がぎっしり詰まった広報入善を、故郷の便りとして送ってあげませんか。送付する広報紙は、原則として4月号から来年3月号まで。年間の送料は1200円です。

希望のかたは、役場総務課 広報 ☎72-1100内線203までご連絡ください。

●いいからかん……あやふやな。一杯飲んだ勢いで「君は松坂慶子にそっくりだね」と言い寄ってきた。「いいからかん」の男が多くて困るけど、それから私は、いつも飲みに出るようになったのです。

私たちの広場

卒業から
勇気をください……
(入学でがんばろう)

by. lucky tomato

祝 第XX回 学校卒業式



イラスト
松島一美さん
(青木・17歳)

ご意見などを
お寄せください

この広場は——

●ご意見 ●イラストやマンガ ●グループの紹介 ●私の趣味……などに利用したいと考えます。

紙上匿名は自由ですが、原稿には必ず住所・氏名を明記してください。

広報担当係 ☎72-1100
内線 203

長谷川さんが気象観測を始めたのは小学校4年生のとき。理科の授業で天候について学んだのがきっかけでした。それから今日までずっと農業を営むかわら、なんと35年間も毎日観測を続けています。

自宅庭に設置された百葉箱の中は、気象台が認可する正確な計器類でぎっしり。観測する項目は天候、雲量、気温、気圧、湿度、水温、風力、雨量、降雪、積雪とたくさんあります。これらすべてを1日2回、午前9時と正午に計ります。

「農家にとって気温や雨量、水温は特に気になります。昔は



としはる
長谷川利陽さん
(小摺戸1区・45歳)

気象観測を続けて35年



▲温度計の目盛りを読む長谷川さん。正確さが第一です。

去年2月、長年の実績が富山地方気象台に認められ、長谷川さんの自宅が「入善観測所」として公式に認可されました。長谷川さんのデータは、気象台や黒部川扇状地研究所の貴重な資料にもなっています。

「興味半分で始めたものが、人の役に立つようになって本当にうれしいです。これからもずっと続けます」と目を輝かせます。

よく近所から天気予報を頼まれたものです」と笑いながら話します。

去年1年間の気温は最高で36・1度、最低はマイナス4・1度だったとか。また、この冬の最高積雪はたったの26センチ。「ここ3、4年で、年間の平均気温が2度以上も上がりました。地球温暖化は本当に起こっているのかもしれない」と、心配そうに話します。

TOYBOX スペシャルプラン [富山発着] **大韓民国**

Aコース	濟州島3日間	102,000円
Bコース	釜山・慶州・ソウル4日間	133,000円
Cコース	濟州島・ソウル4日間	134,000円
Dコース	濟州島・釜山・慶州4日間	130,000円
Eコース	ソウル4日間	128,000円

※詳しくは、お気軽にお問い合わせ下さい。

日曜・祝日も営業しております。

ニュージャパントレベル
TEL 74-0151 FAX 74-0129

塾

小5・6, 中, 高生
英語, 数学, 理科

お問合わせ
☎74-0579

入善アカデミー
入膳13区 消防署前

グループ登場

音痴は必ず直ります

フラワーカラオケ会

「いちえんだりまりの たびがらすり……」

マイクを片手に、楽しそうに歌うみなさんの歌声が聞こえてきます。中には、「プロの歌手より上手なのは」と思われるくらいの歌唱力の持ち主も何人かいるようです。

フラワーカラオケ会が結成されたのは今から5年前。演歌好き50人ほどが町じゅうから集ま

って、自分の歌唱力をさらにアップさせようと、毎月2回南部コミュニティセンターでレッスンを積んでいます。

会長であり講師を務める西島ゆき子さん（墓ノ木・56歳）は、作曲家・遠藤実さんが主催する日本演歌道場から最高の8段の称号をもらっている強者。大会に出れば必ず優勝するほどの腕前です。その西島さんに何とか近づこうと、笑いの中にもみなさんの真剣な表情がうかがえます。

「大切なのはやっぱり呼吸です。これをきちんとマスターすれば、どんな人でも上手になります。あとは度胸をつけることです。さあ、さあ、みなさん。」

入会当時は恥ずかしがり屋さんばかりだったそうですが、たまにみんなで飲みに行ったりしたときは、真っ先にマイクの争奪戦が始まるのだとか。歌の上達に加え、毎日を愉快地過ごす名人になったみなさん。心も体も若返ったようです。



▲会員は女性がほとんど。デュエットが苦手…？



大沼千穂さん
(新上野・17歳)

全国放送コンクール で優秀賞

「さすがに全国大会となるとすごい人がたくさんいました。なのに、入賞だなんて夢みたい。真っ先に家族のもとへ電話しました」と、うれしい気持ちを感じられない様子の大沼さん。

1月20日、東京で開かれた全国高等学校放送コンクールで、大沼さんは「ラジオアナウンス」と「ラジオ朗読」に出場。両部門でみごと優秀賞に輝きました。コンクールでは、わずか2分

が勝負。伝えようとする課題を聞き手に分かりやすく、素直に聞き入れてもらわなければなりません。

「気持ちが大切。でも、力み過ぎて押しつけがましくなるのは良くないですね。もちろん、方言を出すのは絶対に禁物。毎日お風呂の中で練習した成果が本番で見事に発揮できました。」と優しく説明してくれます。

現在、魚津高校の2年生。放送部では副部長を務め、50人を抱える部員のまとめ役として、みんなから親しまれています。先輩には、北日本放送局の金沢敏子さんほか、プロで活躍中のアナウンサーが大勢います。

将来の夢はと尋ねたところ、「はい、やはりアナウンサーになりたいです。小さい時からの憧れなんです」と、明るく気持ちの良い返事が返ってきました。



▲校内放送では「朝の放送」を担当。「さわやかな気分を出したい」と話します。

美しい女性の生きがいを学ぶ
入善町装道きもの大学講座

3月16日(土) 開場 12:00
開演 13:00

講演「美しく生きる知恵」
装道きもの学院理事長 山 中 典 士 先生
主催/装道きもの学院富山県認可連盟

3月3日は 耳の日

初めての方も
二使用中の方も

補聴器 のことなら当店へ!!

ドイツ、シーメンス社特約店、聴力測定、耳型採形OK

なかしま眼鏡時計店

富山県福祉法指定店 ☎72-2311

今月の さわやかさん

No.87



池原恵美さん
めくみ
衛武伸工業
勤務
(藤原・20歳)

就職し、社会人となって2年目。ついこの間には成人式も迎えて、少しは大人になったかなと自分でも思っています。

会社では一般事務を任せられ、伝票整理や給与計算、お客さんとの対応など、けっこう忙しいけど、やりがいがあります。半年前からワープロ教室に通っています。仕事にも生かせる特技をなにか一つ身に付けようと思ったんです。ただ今、資格検定に挑戦中、がんばっています！

20歳になって、新しく始めたことが二つあるんです。一つは毎日の日記を付けること。もう一つは、女性らしいことをと思い編み物を始めました。両親への贈り物にしようとセーターを編んでいるんですが、なかなか思うようにいかなくて……。この調子だと完成は春、イチゴの季節になってしまいそう……!?

理想の男性は俳優の野村宏伸さんみたいな人。優しく包んでくれるような人が好きです。

▼このページ右下の「今月の人口」のコーナーを、みなさんは毎月ご覧になっているでしょうか。昨年と比べ全体で160人も人口が減り、最近では3万人のラインを行ったり来たり。そのたびになぜか一喜一憂させられます。

▼ところで、日本で人口が一番密集しているのは埼玉県の蕨市。その密度は、入善町に100万人が住んでいるという計算になります。まちの人口は多ければ多いほど良いというものではないでしょうが、少ないとやはり活気がなく寂しいものです。

▼3月は年度末を控え、卒業、進学や就職の準備、引っ越しなど、何かと気ぜわしい月です。役場の窓口は、転入・転出の手続きに来られるお客さんが多いし始まります。人の出入りが多いのも活気ある証拠。ただ、転入、転出どちらが勝るか、気になる

あなたど図書館

今も伝わる 万葉の歌心

☎72-0180
(直通)
休館日：毎週火曜日
と22日(金)、29日(金)

もののふの八十乙女らが
汲みまごう

寺井の上のかたかごの花

(大伴家持)

千二百年もの昔、越中のいてつく冬を耐え忍んだ大伴家持は、春を迎えた喜びを、水をくむ乙女達と可憐なかたくりの花に託して詠みました。

口ずさめば、明るく生き生きとした情景が目に見えかぶようです。

万葉の時代も今も、春を待ち望む心には変わりありませんね。

ところで、大伴家持は、この越中在住の5年間で223首の歌を作っています。これは、彼が生涯に詠んだ歌の約半数を占めるものであり、彼の人生の中でも一番充実した29歳から34歳までの作品です。

彼にとつて、この越中時代はつまま・茸付・堅香子などの植物、射水川・雄神川・奈興の海などの地名、そしてこの地方独特の気象現象である「あゆの風」といった言葉を積極的に歌に採りこむことによつて、ゆるぎない万葉歌人・大伴家持を確立し

たといつても過言ではないでしょう。そして、冒頭の歌をはじめとして彼の作品は、気の遠くなるような長い歳月に多くの人がびとに愛唱され、たたえられて今日に伝わってきました。



これは、この越中に生まれ住んでいる私たちにとつて、かけがえのない財産と言えるでしょう。今一度、次に掲げる本をひもといで、家持や万葉集に親しんでみませんか。

ちなみに、入善にも同好の士が集まって万葉集を読む会があります。興味をお持ちの方は、図書館までご連絡ください。

- 大伴家持 岩倉政治
- 大伴家持光と影と 北日本新聞社
- 大伴家持 山本健吉
- ふるさとの万葉 越中 高岡市万葉歴史館
- 越中の万葉 越中万葉顕揚の会
- ふるさとの万葉 小沢昭巳
- 万葉の歌一人と風土 山口博
- 万葉集の植物 吉野正美

今月の人口	
人口	30,008 (-160)
男	14,363 (-69)
女	15,645 (-91)
世帯数	7,846 (-6)
()内は前年同月比	
1月末日現在住民登録	

編集室

▼このページ右下の「今月の人口」のコーナーを、みなさんは毎月ご覧になっているでしょうか。昨年と比べ全体で160人も人口が減り、最近では3万人のラインを行ったり来たり。そのたびになぜか一喜一憂させられます。

▼ところで、日本で人口が一番密集しているのは埼玉県の蕨市。その密度は、入善町に100万人が住んでいるという計算になります。まちの人口は多ければ多いほど良いというものではないでしょうが、少ないとやはり活気がなく寂しいものです。

▼3月は年度末を控え、卒業、進学や就職の準備、引っ越しなど、何かと気ぜわしい月です。役場の窓口は、転入・転出の手続きに来られるお客さんが多いし始まります。人の出入りが多いのも活気ある証拠。ただ、転入、転出どちらが勝るか、気になる